

ビデオコンテンツの制作

○浦添利治、安達 温、大嶋 悟、小川奈津美、山口 勝

京都工芸繊維大学 高度技術支援センター

1. はじめに

当センターでは、技術職員がもっている技術を継承する手段として映像化し残すことを考え、ビデオ技術を習得するための研修を 2007 年度におこないました。また、撮影技術および編集技術に関する基本的な知識と技術を高めることによって、実験実習、演習などの補助教材として用いることを目的としました。

研修の題材として、ガラス加工技術の基本的な操作を学生にわかりやすく伝えるように、「実験室のガラス加工」のビデオを制作しました。このビデオが思った以上に高い評価を受けたので、「ビデオコンテンツの制作」のテーマで 2 年計画の事業を企画し、プロジェクトチームを立ち上げました。

2. 事業の概要について

はじめに、2008 年度の制作テーマについて検討をしました。多くの方に利用してもらえる、教材として繰り返し活用してもらえる、マニュアル等の文字では伝わりにくい部分を映像化する等の観点から、本学の有機廃液処理で各研究分野がおこなっている前処理の方法を解説したビデオ「有機廃液の前処理」を制作することにしました。

制作に取りかかりはじめた頃に、ガラス加工グループより本学のオープンキャンパス連携企画「ガラス細工体験教室」で使用するビデオを依頼されたので、「有機廃液の前処理」と「ガラス細工体験教室【トンボ玉編】、【しずく編】」の 2 テーマを制作することにしました。

2009 年度は、「高圧ガスの管理と取扱い」のテーマで制作しました。本学では化学系だけでなく多くの分野でいろいろな高圧ガスを使用しているので、このビデオを作ることによって学生が実験等を行うときに、基本的な取扱い方法を映像で見ることができます。

これまで制作したビデオでは、説明などを文字で映像に入れる字幕を用いていましたが、2009 年度の制作課題としてナレーションを入れる新しい試みをすることにしました。

また、動画の間に静止画を挿入し、見やすくわかりやすい編集とし、字幕とナレーションを組み合わせることで、視聴者が内容をより理解できるように工夫しました。

3. 制作したビデオについて

図 1 は、2008 年度に制作した「有機廃液の前処理」(本編)の DVD の表紙とビデオのワンシーンです。図 2 は、2009 年度に制作した「高圧ガスの管理と取扱い」の DVD の表紙とビデオのワンシーンです。両ビデオとも再生時間は約 20 分間で、それぞれの項目にスキップできるようにし、見たい項目の頭出しができるように制作しました。

2010 年度に制作した「七宝焼」は、本学のオープンキャンパス連携企画「七宝焼体験コーナー」の参加者に、作品をどのような手順で作るかを解説したビデオです。

ビデオ技術を習得する研修から、これまでに制作したビデオは以下のとおりです。

2007 年度 実験室のガラス加工

- 2008 年度 有機廃液の前処理（本編）
 - 有機廃液の前処理（ダイジェスト版）
 - ガラス細工体験教室【トンボ玉編】、【しずく編】（会場デモ用）
 - ガラス細工体験教室宣伝用ビデオ
- 2009 年度 高圧ガスの管理と取扱い
- 2010 年度 七宝焼（会場デモ用）
 - 七宝焼



DVD



ビデオのワンシーン

図1 「有機廃液の前処理」ビデオ



DVD



ビデオのワンシーン

図2 「高圧ガスの管理と取扱い」ビデオ

4. 今後について

2カ年計画の「ビデオコンテンツの制作」の事業が終了しましたが、映像化することによって得られる効果は有用と考えるので、制作テーマを模索して引き続き継続しています。

また、撮影および編集の技術を更にレベルアップし、個々の技術職員がもっている専門技術・知識の継承のひとつの手段として役立つビデオ制作をおこなう予定です。